

# 照陽の家だより

〒683-0812  
米子市角盤町3-124-3  
TEL 0859-21-8151

10月に入っても暑い日が続きますが朝晩の気配には秋の到来を感じるこの頃です。緊急事態宣言は解除されましたが未だ警戒を弱める事が出来ないこの頃、いかがお過ごしでしょうか？ 照陽の家、ひなたぼっこ保育園は続いて感染対策を徹底しながら利用者様、園児様が安心してお過ごし頂ける環境創りに邁進して参ります。家族様にはご無理を申し上げますが感染予防にご協力をお願い致します。(施設長 三代 富士子)

## ★ 9~10月 照陽での活動を紹介 ★

今月は御朱印集め、ススキの採集、コスモス畑に外出しました。少し肌寒さを感じるようになり秋になったことを実感しました。今月の作品は十五夜お月様を作っています！



地域の人たちが気軽に集える「地域支え愛ほっとガーデン」(米子市錦町2丁目、石田倫義会長)は、2019年に設置された、地域活性化を促す地域住民と、地域との共生を目指す「鳥取ふれあい共生ホーム照陽の家」(同市角盤町3丁目)が連携して運営し、交流拠点として活用されている。この取り組みは、20年度の鳥取県令和新时代創出住民運動活動表彰優秀賞に輝いた。

高齢化が進む錦町では住民が歩いて行ける場所に集会所がなく、住民同士の交流の機会が減少していることが課題となっていた。そこで、空き家になった個人宅の貸与を受けトミさんの家が誕生した。

新日本海新聞にトミさんの家の記事(9/26)が掲載されました。トミさんの家は照陽の家と地域住民が協力して作る集いの場です。介護を受けている方もいない方も「自宅から歩いていける馴染みの場所」で出会う事が出来る。私たちが目指す地域共生の形を今一度、ご一緒に考えていきたいと思えます。

トミさんの家では、専門家になったという。から健康などの講話を聞く。しかし、昨年初めから新型「いきいきサロン」や、お茶 コロナウイルスの影響で活動を飲みながら昔話を語り合うを自薦。参加人数を減らした「思い出カフェ」を主催。リハビリを設けたりといった茶室での新春茶会も開かれ 感染対策を講じながら、思いのつながりやが育まれ、自然と地域課題も共有できるように。石田会長は「コロナ禍で高齢者が閉じこもりがちになり、フレイルなどが出て交流するムードづくりを形しずつ進めたい」と期待する。

住民と共に憩いの場を運営する三代富士子施設長は「職員も住民と一緒に働くことで地域から信頼を頂き、さまざまな意見を聞くこともできる。地域とのつながりやを深めていきたい」と話した。

36 地域支え愛ほっとガーデン トミさんの家 (米子市錦町2丁目、石田倫義会長)

### サロンやカフェで交流

トミさんの家は、専門家になったという。から健康などの講話を聞く。しかし、昨年初めから新型「いきいきサロン」や、お茶 コロナウイルスの影響で活動を飲みながら昔話を語り合うを自薦。参加人数を減らした「思い出カフェ」を主催。リハビリを設けたりといった茶室での新春茶会も開かれ 感染対策を講じながら、思いのつながりやが育まれ、自然と地域課題も共有できるように。石田会長は「コロナ禍で高齢者が閉じこもりがちになり、フレイルなどが出て交流するムードづくりを形しずつ進めたい」と期待する。

### ~日頃の感謝 敬老会~

9月16日、敬老会を開催しました。ひなたぼっこ園児は感染対策のため高齢者との直接交流は控えビデオレターでどんぐり、きのこの歌に合わせた踊りを披露したり、プレゼントをお渡ししました。そして職員からは手作りブローチとそれぞれ利用者様の顔写真が入ったマグネットをプレゼント！「息子、娘からもらったみたい」と喜んで下さいました。午後は「菓子処清月」の秋菓子を味わいながらお抹茶会を実施しています。利用者様との心温まる一日となりました。



### ~ 秋の防災訓練 ~

9月30日、照陽の家、ひなたぼっこ保育園合同の火災避難訓練を行いました。今回はコンセントの漏電による火災を想定し、利用者様にも協力して頂きながら実施しました。避難誘導はスムーズでしたが、より実際の場合を想定した設定が必要であったなど反省点もありました。今後、益々、利用者様、園児、職員が一丸となれる防災訓練を重ねていきたいと思えます。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。

### ひなたぼっこ保育園の日常

